

岐阜県立岐阜総合学園高校で防災講座を行いました

令和4年11月9日（水）、岐阜県立岐阜総合高等学校で2年生33名に水害の防災講座を、15名に地震の防災講座を行いました。岐阜総合学園高校での防災講座は、昨年に続いて2回目となります。

水害の講座では、始めに、この地域も浸水被害にあった9.12豪雨など過去に発生した水害について学びました。その後、VRで浸水を疑似体験して避難行動をシミュレーションし、また、大切な命を守るために自分自身が取べき行動を、マイ・タイムラインの作成を通して学びました。

地震の講座では、中部地方に甚大な被害をもたらした濃尾地震などについて学んだ後、岐阜市が地震に強い地盤なのかを考えて頂きました。その後、装置やペットボトルを用いて、液状化現象を学ぶ実験を行いました。

講座を通して、生徒からは、「VRなど貴重な体験が出来てとても勉強になったので、家族や友人などに伝えていきたい」「命を守るために考えて行動したり対策を考えたい」などの感想がありました。

今回の防災講座が、生徒の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

